



地域の

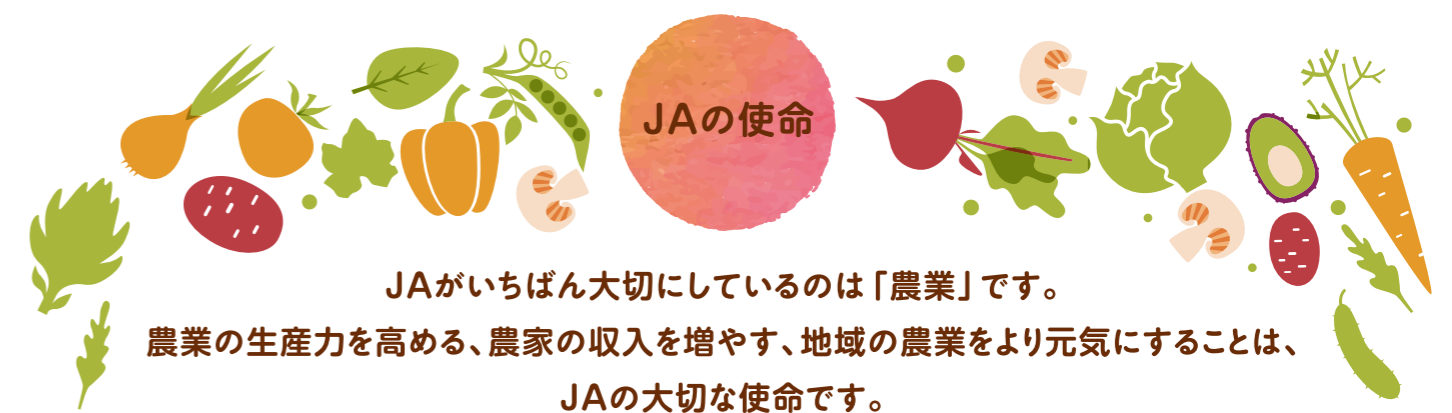
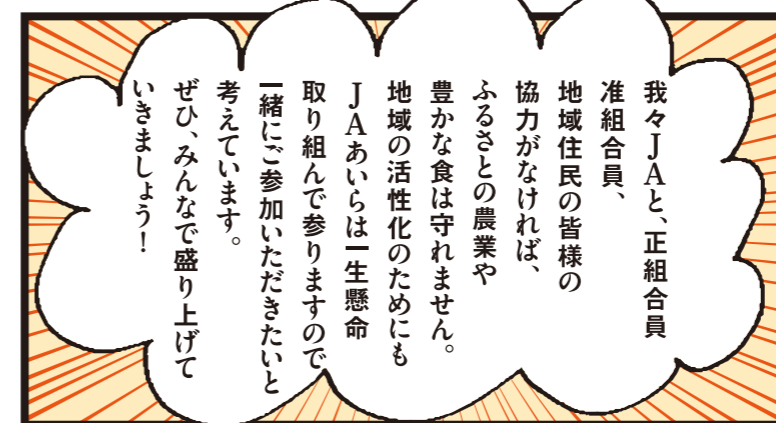
われら 食&農サポーター

JA事業と准組合員の役割

届ける安心 広がる笑顔 生まれる信頼

JAあいら 霧島市隼人町西光寺521-1
TEL 0995-43-7300 (代表)

2018年2月作成



地域農業の主役は正組合員

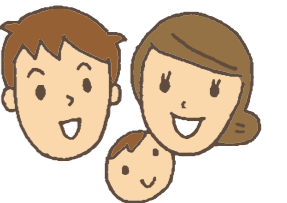
JAあいら管内は、標高差により地勢・気候ともにバラエティに富んでおり、良質米、高品質な霧島茶・湧水茶、肉用牛の生産が盛んであるほか、有機農産物、ぶどう・梨などの観光農園など多彩な農産物が生産されています。

地域農業の主役である正組合員は、地域農業の将来像を見据えながら、ふるさとの美しい景観や食の安心・安全を皆さまに提供しています。



農業と地域を支える准組合員

JAが取り組む様々な活動に参加することで、地域農業やくらしを支えるパートナーの役割を担います。地域における農業・農村の役割を理解し、正組合員がはぐくむ農畜産物を積極的に消費する、そのことを組合員以外の方々に広げていただくことが、ふるさとの農業や豊かな食を守ることにつながります。



JAの役割

農業の生産力を高める営農指導に加え、残留農薬検査など、生産された農産物の「安心・安全」を担保する機能を果たしています。また、新鮮な農畜産物を地域と共有する地産地消運動、高齢化社会を見据え、買物弱者対策として移動販売車の運行など、地域のコミュニティに欠かせない取り組みも展開しています。

JAは協同組合として「かけがえのない農業を守り、はぐくみ、農業や食の大切さを一人でも多くの人に知ってもらうこと、そして、安心して暮らせる住みよい地域社会をつくること」を役割としています。

JA あいらは、地域に根ざした協同組合として、地域農業や暮らしを支える総合事業を展開しています。

- 信用事業 (JAバンク)**: お祖父ちゃんのお孫さんへお孫さんへJA証券。JAだちがいつも行くガソリンスタンドもJAだち。
- 営農指導事業**: 組合員の栽培技術や販売に関する指導や経営に関する指導など営農に係る全般的な相談機能。
- 共済事業 (JA共済)**: 肥料や農機具等の生産資材や生活資材を安定的に供給する。
- 購買事業**: 組合員が生産した農畜産物をJAが集荷して販売する。
- 教育文化活動**: Aコープもあるし、実はすぐ生活に密着してるんだなあ。
- 販売事業**: 組合員が生産した農畜産物をJAが集荷して販売する。

ところが現政府は、JAの農家への指導販売体制が国内農業の競争力強化を阻む障害になっていると。法人経営や大規模農家など農業の組織化を促進することが農業の生産性向上を促進させるとしているんです...

「それは、うちんのような家族経営の小さな農家はいらんちこつけ？」

「そうなんです！子供が起るから静かに！」

「だから私たちJAは自己改革を通じて、JAの必要性や農家の9割以上を占める家族経営の重要性を広く広報しているところなんです！」

JAあいら 正組合員数と准組合員数の推移 (単位:人)

年度	正組合員	准組合員
平成4年	18,000	7,000
平成6年	17,000	8,000
平成8年	16,000	9,000
平成10年	15,000	10,000
平成12年	14,000	11,000
平成14年	13,000	11,000
平成16年	12,000	10,000
平成18年	11,000	10,000
平成20年	10,000	10,000
平成22年	9,000	11,000
平成24年	8,000	12,000
平成26年	7,000	13,000
平成28年	6,000	14,000

農業人口が減り、2012年に正組合員と准組合員の数が逆転しました。

「ほんなら、販売購買・営農指導の3本柱で農業振興していけば良かと思いませんか？」

「まさに政府は、准組合員のJA利用を規制し、JAを総合事業体から農業部門だけの専門農協にしようとしています。しかし...」

28年度事業利益の状況 (単位:千円)

事業種別	利益/損失
指導事業	約100,000
家畜用等事業	約100,000
宅地供給事業	約100,000
利用事業	約100,000
加工事業	約100,000
倉庫事業	約100,000
販売事業	約100,000
購買事業	約100,000
信用事業	約100,000

事業利益としては畜産販売事業では子牛価格の高騰もあり現在は利益も出ていますが一方、農産販売・指導事業では赤字となっています。結果として信用・共済事業の利益から農業関連事業への補てんや事業分量配当・出資配当など、組合員の皆様への還元も賄っている状況です。

「農家(正組合員)への支援はもとより、JAの経営自体もできなくなる恐れがあるのです。」

「日本の農業が破綻したら安心・安全な食が手に入らなくなるしなあ。」

「つまり、准組合員とは、地域農業を共に支えるパートナーなんです！」

「お茶入れるから座って〜」

「これ、評判の「霧島」さんの「グラノーラ」です。」

「寝かせてくるね。」

「あっ、手伝います、嬉しい！」

「先週も来ましたけど...」

「んまあ〜慈永くん♡大きくなったわねえ〜！」

「ただいま〜」

「あつ親父 今日はずっと居たんだ。」

「おいらっしやい。」

「丁度良かった。実はさ〜」

「俺たちもそろそろ家を建てようかと思って、慈永も生まれたし。」

「JAあいらに住宅ローンの相談に行つてきたんだけど、」

「准組合員ってのになら必要があるみたいだね。親父は農業やってるから正組合員なんですか？」

「かなくてから気になっちゃった。まちょっと農業に力を注いでくれんどのかい。」

「JAあいらは、本来農家のための協同組合じゃつちいうのに近頃は貯金や共済ばかり力を入れちよつたなあ。」

「お茶が入りましたよ。」

「あ、誰け？」

「准組合員って結局何のためにあるんじやろかい。」

「よかところに来た！」

「ま、座らんね。」

「実はいま、かくかくしかじかで...」

「お茶どうぞ。」

「JAの永王です。」

「JAあいら/営農指導員 えいのう だいち 永王 大地」